

平成29年度9月一般会計補正予算の概要

生涯活躍のまちづくりを推進するため健康ステーションの開設などを支援するほか、準要保護児童生徒に対する就学援助費の増額、公共施設の耐震診断や空調設備の改修など、緊急を要する経費について補正予算を編成しました。

【補正予算の規模】

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	計
一般会計(第3号)	30,987,444	215,159	31,202,603

【補正予算(案)の主な内容】

(単位：千円)

	事業名	予算額
新規	上の丸保育所の耐震診断、実施設計等 【内容】構造躯体調査、耐震診断、補強計画、実施設計等 (教育企画部教育環境整備課)	8,922
	口吉川アフタースクールの耐震診断 (旧口吉川幼稚園園舎) 【内容】構造躯体調査、耐震診断、補強計画等 (こども未来部子育て支援課)	3,900
	学校・家庭・地域の連携協力推進事業 ※別紙1参照 【内容】コーディネーターや学習支援活動指導員への謝礼等 (市民ふれあい部市民協働課)	900
拡充	生涯活躍のまちづくり推進機構への補助金追加 (当初 3,200 千円 + 9月補正 5,100 千円 = 8,300 千円) 【内容】機構職員の人件費、イベント開催費、ホームページ作成費、健康ステーション事業 (別紙2参照) 等 (健康福祉部生涯活躍のまち推進課)	5,100

拡充	準要保護児童生徒就学援助費の増額 （新入学用品） 【内容】 準要保護児童生徒（小学1年生65人・中学1年生93人）に支給する新入学用品にかかる援助費の増額。 平成29年4月に入学した児童生徒から支給。 （年額）	3,625																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>現 行</th> <th>改定案</th> <th>差 引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学1年生</td> <td>19,900円</td> <td>40,600円</td> <td>20,700円</td> </tr> <tr> <td>中学1年生</td> <td>22,900円</td> <td>47,400円</td> <td>24,500円</td> </tr> </tbody> </table> （こども未来部学校教育課）		区 分	現 行	改定案	差 引	小学1年生	19,900円	40,600円	20,700円	中学1年生	22,900円	47,400円	24,500円				
区 分	現 行	改定案	差 引															
小学1年生	19,900円	40,600円	20,700円															
中学1年生	22,900円	47,400円	24,500円															
その他	非常勤職員の賃金追加 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>当 初</th> <th>9月補正</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>嘱託職員</td> <td>105,000千円</td> <td>124,000千円</td> <td>229,000千円</td> </tr> <tr> <td>アルバイト職員</td> <td>71,000千円</td> <td>33,000千円</td> <td>104,000千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>176,000千円</td> <td>157,000千円</td> <td>333,000千円</td> </tr> </tbody> </table> （企画管理部総務課）	区 分	当 初	9月補正	計	嘱託職員	105,000千円	124,000千円	229,000千円	アルバイト職員	71,000千円	33,000千円	104,000千円	計	176,000千円	157,000千円	333,000千円	157,000
	区 分	当 初	9月補正	計														
	嘱託職員	105,000千円	124,000千円	229,000千円														
	アルバイト職員	71,000千円	33,000千円	104,000千円														
計	176,000千円	157,000千円	333,000千円															
市税過誤納還付金の追加 （当初30,000千円 + <u>9月補正30,000千円</u> = 60,000千円） （市民ふれあい部税務課）																		
ため池の耐震化に係る調査設計費の追加 （当初10,000千円 + <u>9月補正17,363千円</u> = 27,363千円） 調査設計箇所：大村中池、イルスミ池 （豊かなくらし部農業振興課）																		
国の社会資本整備総合交付金の減額による道路や公園整備事業の見直し （まちづくり部道路河川課）																		
		▲106,218																

学校・家庭・地域の連携協力推進事業の概要

1 趣 旨

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動（＝「地域学校協働活動」）を積極的に推進するため、従来の個別の活動の充実、総合化・ネットワーク化を図り、「支援」から「連携・協働」を目指す体制づくりを推進する。

- 地域と学校が連携・協働する体制を学校ごとに構築し、ニーズに応じた支援活動を展開。
- 学校単位で関係者が教育目標や課題を共有することで、活動の質の向上を図る。
- 個人に頼っていたコーディネート機能を組織的に補完し、持続可能な体制を構築。

2 地域学校協働本部について

学校区ごとに、学校と地域の連携・協働を推進する組織の全小中学校での設置を目指す。

＜構成＞学校関係者、地域の団体、地域住民のボランティア、放課後児童クラブ関係者、保護者 等

＜機能＞教育活動の実施内容・方法等の検討、関係者の情報共有

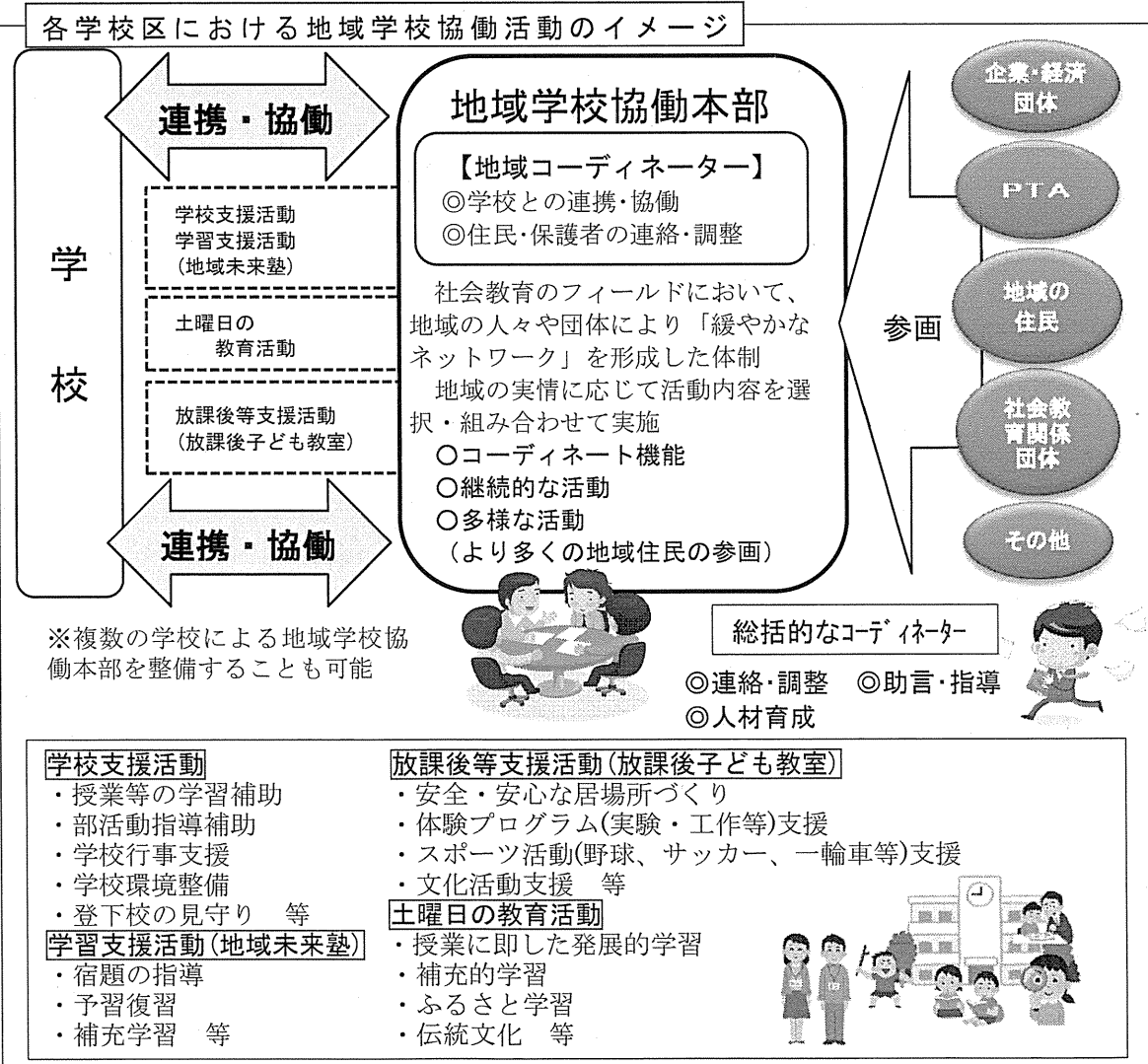
3 事業の概要

県 ○推進委員会の設置 ○事業関係者の資質向上や情報交換・共有を図る研修の実施 等

市町 ○運営委員会の設置 ○コーディネーターの配置・育成 ○地域学校協働本部の設置・運営

○地域学校協働活動の実施 ○市町研修の実施 等

（負担割合：国、県、市町 各1/3）



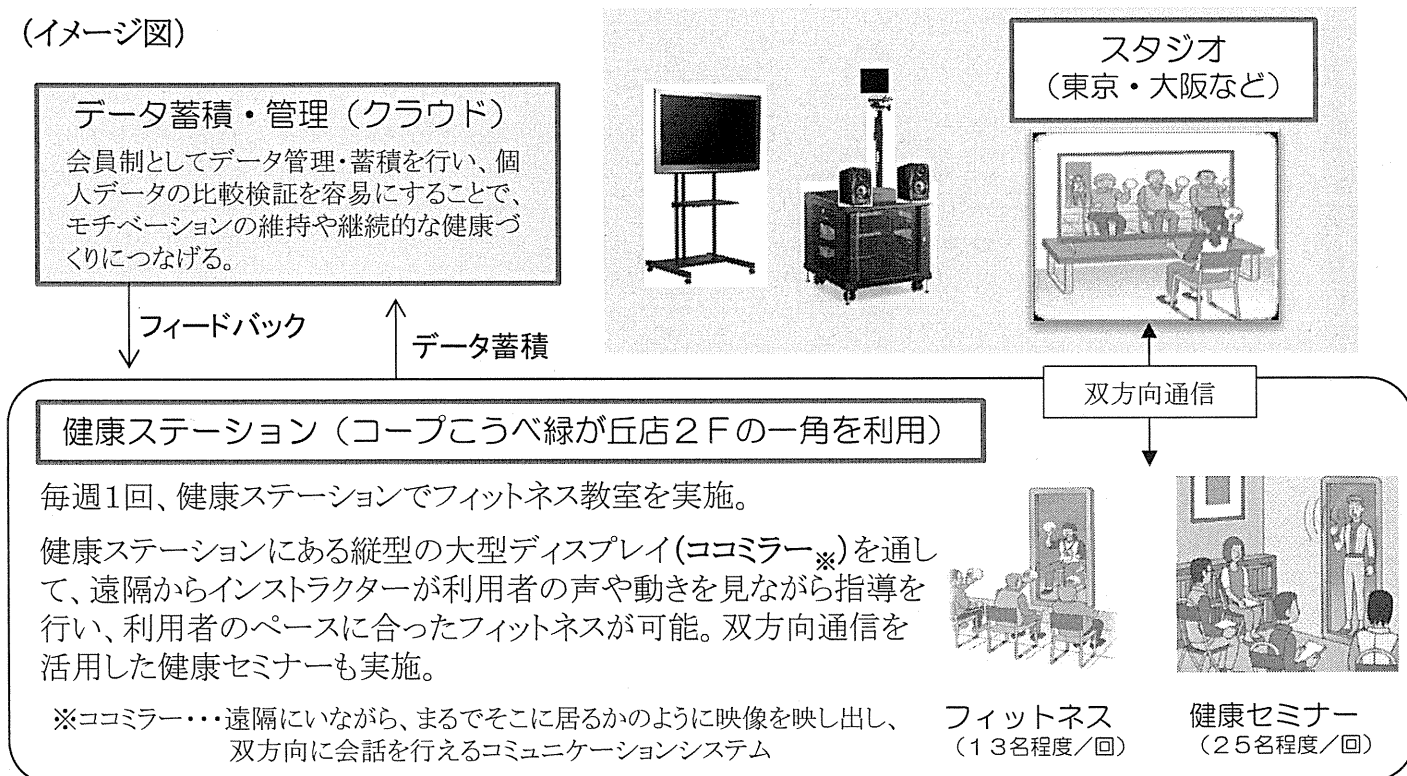
(一社)三木市生涯活躍のまち推進機構が、生涯活躍の原動力となる住民の「健康」を維持・増進するために実施する健康ステーション事業に対し、助成します。

1 事業の概要

新たに健康ステーションを設置し、バイタルの測定、フィットネス、健康セミナーなどを実施します。

- ①健康コンシェルジュによる体力と認知力の測定。測定データを蓄積・管理し活用。
- ②プロのインストラクターが、データに基づいて各個人の健康状態に合ったエクササイズを指導
- ③セミナー講師が、データを活用して参加者に見合ったセミナー・健康指導を実施

(イメージ図)



2 実施体制

生涯活躍のまち推進機構を事業主体として、「郊外型住宅団地ライフスタイル研究会」の会員である大和ハウス工業(株)及び(株)ライフビジネスウェザーが協力して運営する。

3 事業費 ※総事業費を上記3者で3分の1ずつ負担

H29年度 総事業費 660万円 (H29. 10 ~ 6か月)

○ 機材費 400万円 (初年度購入)

・測定機器(体組成計、血圧計、心電計など)	60万円
・ココミラー(双方向通信システム)	240万円
・ココミラー(遠隔地設置用)	100万円
(29年度は1箇所、30年度は2か所設置)	

○ 人件費 250万円

・健康コンシェルジュ(有償ボランティア含む)	120万円
・フィットネスインストラクター(2万円×35回)	70万円
・セミナー講師(3万円×20回)	60万円

○ 雑費 10万円

$\frac{1}{3}$ 220万円